



## 黄金の稲穂

稲刈り、脱穀で園児たちもおおはしゃぎ

山本 智也

私たち神戸からの自産自消を目指す機構の農班は、保田ほかし(無農薬、有機による乳酸菌こやし)により、石巻市渡波地区で3回目の米栽培に挑戦しました。2011年9月から阿部勝、勝徳親子を親方に見倣い入門し、農のイロハから教えていた

3.11の津波による汚泥で作付けがなされなかった渡波の水田。やっと今年の春、47町(ヘクタール)の田植えがなされました。廃業しなかった3人の農家は4年ぶりに収穫を喜びました。3年間寝かしていましたが、土中に窒素が十分あるということ、無肥料でしたが、成育をよくするために追肥をしました。

若い人見たことねえーちゃー。笑顔で炎天下ちや、寒い時ちやー、黙々と土をいじる姿は長いこと見ないつちやー。年よりだけになつてしまった村に来てくれるのはありがたいなあ。毎月来てくんだなあ。仮設住宅には辛い経験をした人が少しでも明るくなればと沿道に花を植え始めた。だんだん手に負えなくなつたべちや。「私たちにも手伝わせてください」とうれしかったちや。孫にもじいちゃんばあちゃんの花と誇りに思える郷土を残してびちゃんあー。仮設の人たちも楽しみにしてるつちや。東北を忘れねえでる神戸の人々に手を合わせて待つてるからちや。

石巻市沢田区長

木村 襲治

『毎月ありがとう!』

きました。酪農を津波によつて廃業された亀山繁さんが寛大に農地を提供してくださいました。津波の影響のなかった過去2回にわたる沢田地区の田植え、雑草刈り、稲刈り、脱穀と異なります。素人だらけに笑う者にならないように、ボランティア農班は炎天下も雑草刈りにいそしみました。

稲こぎに園児ら協力  
新米は地域住民に振る舞う

震災後の3年前から石巻市内や渡波地区でボランティア活動を行つてきた「神戸国際支縁機構」(岩村義雄理事長)は21日午前、石巻市流石の学校法人渡波学園(石巻市浦刈園)で、園児60人と一緒に、渡波地区の田んぼで9月に稲刈りをした稲穂の稲こぎ作業を行いました。

なお、神戸国際支縁機構では、収穫した新米を今年も、11月24日午前10時30分から渡波公民館大ホールで開催する「渡波地区復興まつり」(渡波地区の復興協議会、区長会など団体主催)に、「おにぎり」にしての汁や、かき汁とともに訪れた地域住民に振舞う予定です。

「牡鹿新聞」 2014年10月26日付

## 被災田に実りの秋

石巻・渡波地区

4年ぶりに稲刈り

神戸の支援団体 幼稚園児と作業

11月、収穫祭おにぎりにし振る舞う



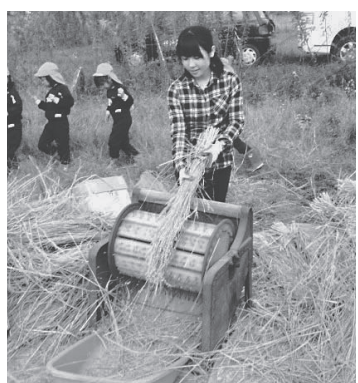
稲刈りに参加する園児と保護者ら—石巻市渡波

震災前には稲作が盛んな渡波地区の田んぼが、3.11の津波で水田が干上がり、田んぼが荒れ果てた。震災後、地元住民とボランティアが協力して、田んぼを復元し、稲作を再開した。今年、4年ぶりに稲刈りが行われ、収穫祭が開催された。

「石巻かほく」 2014年9月25日付



第44次の稲刈り、保原政美氏が「稲架掛け」を手伝ってくださり、一同感激



第45次の脱穀作業

第43次のイヌビエ除草



# 丹波水害 山津波(その一)

鍋島 隆(第13、32次)

山津波と呼ばれる土石流が兵庫県にもたらされました。広島島の惨状、犠牲者数、復興の厳しさについて「恐ろしいつちや」と東北でも話題になります。神戸市から北へ約3時間の丹波地域は犠牲者がひとりであつたせいでしょうか、被害の割りにはあまり注目されませんでした。

土砂で埋まっている市島  
8月16、17日、兵庫県市島町に両日の降雨量は419ミリ。集中豪雨が襲いました。避難指示が出されたのが真夜中です。住民は家から出られず、背後

の山から流れ出た濁流に吞まれました。名園で有名な名刹、石像寺住職の妻佐久間千佐子さん(64歳)は「土石流が流れた時、本堂・庭園が赤く覆ったようだった。谷上では硫黄の臭いがした」と語ります。下鴨坂の志賀輝行さん(79歳)夫婦は土砂の下敷きになりました。奥さまは両足の骨折、ドクターヘリで搬送され、治療中です。

丹波市の北東部は土砂崩れ135か所、倒壊家屋53棟、床上床下浸水1171棟の大惨事。1万2286人(4575世帯)に避難勧告が報道されました。

2011年、宮城県石巻市では津波が襲いました。どの遺体も空気を吸いたいあまり、大きな口を開けており、男性女性の区別が困難なほどでした。土

石流の場合も異なります。いずれも呼吸ができません。難難辛苦です。

治山治水がなされていないと、密集した林、放置竹林、天然ダムは土砂崩れが起こりやすいので、なぜなら低



石像寺 2014年8月17日 高橋信二氏提供

木、下草、落葉の層がないからです。間伐、枝打ちが30(40)年していません。地表が裸でスポンジのように雨水を吸う働きがありません。地震が起きたら、竹藪は根が張っているため、地割れの危険はないので逃げ込め、と言いつつ、網の目のように張った根が地割れを防いでくれるからです。江戸時代、錦川では竹林が水害防備林としても用いられた。しかし、今日、プラスチックの普及により、ザル、家具、竹垣に用いなくなったため竹林は放つて置かれたままです。そんな放任竹林はかえって危ないのです。裏山に竹林があると土砂崩れしにくいというのはまちがった常識です。



犠牲者が出た下鴨坂竹林 2014年8月29日



現地からの炊き出し依頼

私たち当初、訪問した前山地区の浄水場が甚大な被害を受けていました。道路、地中にあった送水管は寸断され、むき出しのままになっています。水道が開通した地区でもま

市島も過疎化が進んで竹林に手が加えられず、立合山にも入り込んで雑木林を枯死させていました。竹藪ごとごとり地滑りしました。手入れしていない地下茎は枯れており、葉っぱは生い茂つていても根はないも同然です。斜面の場合、なおさら踏ん張れません。「破竹の勢い」で家屋を損壊しました。「谷上の4つの隣保、36軒はほとんど住めなくなつた」と徳尾在住の森本修三さん(74歳)は語ります。

たず住民の不安は高まっています。そこで、R SY事務局浦野愛さん、曹洞宗普蔵岸哲生住職、長楽寺安達瑞樹住職や、ひなたぼっこカフェの今井禎夫&頼子ご夫妻、西村恭子さんと協力し、ライフラインの復旧を待つ尾端および鳴阪・徳尾・大杉谷上周辺地区被災者たちに温かい豚汁、筑前煮150名分を提供。東北ボランティアに参加したメンバーたちで現地に訪問を続けています。



だ濁った泥水だから飲めません。高齢の被災者は給水車まで取りに行く作業もつらいのです。鴨坂浄水場区域(220世帯)では復旧のめどがぜんぜん立たず住民の不安は高まっています。そこで、R SY事務局浦野愛さん、曹洞宗普蔵岸哲生住職、長楽寺安達瑞樹住職や、ひなたぼっこカフェの今井禎夫&頼子ご夫妻、西村恭子さんと協力し、ライフラインの復旧を待つ尾端および鳴阪・徳尾・大杉谷上周辺地区被災者たちに温かい豚汁、筑前煮150名分を提供。東北ボランティアに参加したメンバーたちで現地に訪問を続けています。

法律相談初回無料。  
お気軽にご相談下さい。

**宮永法律事務所**  
みやながたかし まつだやすお  
弁護士 宮永亮史 弁護士 松田康生

〒650-0016 神戸市中央区橋通1-2-14  
**0120-997-181**  
TEL 078-351-1325 FAX 078-351-1270

マナ助産院では、みな様の  
妊娠・出産・子育てを  
応援します

〒651-1123 神戸市北区ひより台2丁目30-6  
TEL・FAX(078)742-3474  
HP: http://www.mana-mh.com/

**永原 郁子**  
(神戸ひより台教会会員)

**TAMANOHADA**

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑3-8-12  
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124  
URL: www.tamanohada.co.jp

株式会社 チュチュアンナ  
代表取締役社長

**上田 利昭**

**tutu.anna™**

**MIYOSHI**

ミヨシ石鹸株式会社

〒130-0021  
東京都墨田区緑3-8-12  
TEL 03-3634-1341

**竹中工務店**

www.takenaka.co.jp

SERVING MANKIND

**Humanity First**

「ヒューマニティファースト」  
日本アハマディア・ムスリム協会



## 水害にはうんざり

原 由

石巻地方

記録的大雨

平成25年(2013年)5月12日(金曜日)

石巻市 土砂で家屋全壊 商店街浸水

# 震災思い出す 市民うんざり



石巻市で発生した記録的大雨による土砂災害の被害状況。写真：石巻市消防局提供

石巻市で発生した記録的大雨による土砂災害の被害状況。写真：石巻市消防局提供

石巻市で発生した記録的大雨による土砂災害の被害状況。写真：石巻市消防局提供

石巻市で発生した記録的大雨による土砂災害の被害状況。写真：石巻市消防局提供

石巻市で発生した記録的大雨による土砂災害の被害状況。写真：石巻市消防局提供

石巻市で発生した記録的大雨による土砂災害の被害状況。写真：石巻市消防局提供

**今も東北三県で26万人が避難生活**  
 復興事業の遅れでなお26万7千人が避難生活を送り、3県で9万人近くがプレハブ仮設住宅住まいです。  
 市街地には、病院、お店、学校も近くにありません。一刻も早く、ちゃんとした構造の住

日 本 電 機 有 限 公 司 日 本 電 機 有 限 公 司 2014年10月26日 10月24日 10月24日

# 石巻台風新聞

石巻台風新聞  
〒985-0814  
石巻市大森1-17-7  
電話 0225-525-46-5231  
FAX 0225-525-46-4720  
Eメール 石巻台風新聞@hibi-net.jp  
石巻台風新聞 2014

Hibi-net  
http://www.hibi-net.jp  
facebook.com/hibi-net

**同和興業**  
同和興業株式会社  
〒985-0814  
石巻市大森1-17-7  
電話 0225-525-46-5231  
FAX 0225-525-46-4720  
Eメール 石巻台風新聞@hibi-net.jp

## 大型台風またも直撃

大型の台風第26号は、25日午後1時、宮城県大森町に上陸し、東北地方を縦断して、26日午後1時、千葉県市川市に上陸した。石巻市は、25日午後1時から26日午前1時にかけて、最大瞬間風速30メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。また、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。この台風の影響で、石巻市では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。この台風の影響で、石巻市では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。

### 雄勝で降水量209ミリの豪雨

雄勝町では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。この台風の影響で、雄勝町では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。

### 雄勝で降水量209ミリの豪雨

雄勝町では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。この台風の影響で、雄勝町では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。

### 雄勝で降水量209ミリの豪雨

雄勝町では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。この台風の影響で、雄勝町では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。

### 雄勝で降水量209ミリの豪雨

雄勝町では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。この台風の影響で、雄勝町では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。

### 雄勝で降水量209ミリの豪雨

雄勝町では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。この台風の影響で、雄勝町では、25日から26日まで、大雨が降り、26日午前1時から午後1時にかけて、最大瞬間風速25メートル以上の暴風が吹き、大雨が降った。

有風の置き土産、女川町に紅のアーチがかかった(11月1日撮影)

有風の置き土産、女川町に紅のアーチがかかった(11月1日撮影)

有風の置き土産、女川町に紅のアーチがかかった(11月1日撮影)

気圧が下がると、海水が湧き出る。この海水は、海水淡化装置で処理され、淡水が作られる。この淡水は、飲料水として利用される。この海水淡化装置は、海水をろ過し、淡水を抽出する。この海水淡化装置は、海水をろ過し、淡水を抽出する。この海水淡化装置は、海水をろ過し、淡水を抽出する。

気圧が下がると、海水が湧き出る。この海水は、海水淡化装置で処理され、淡水が作られる。この淡水は、飲料水として利用される。この海水淡化装置は、海水をろ過し、淡水を抽出する。この海水淡化装置は、海水をろ過し、淡水を抽出する。この海水淡化装置は、海水をろ過し、淡水を抽出する。

[illegible]

おくのうみ  
潮干のかたのいうかいもなし  
「新古今和歌集」藤原定家  
うしとても身をばいずくに  
おくのうみ  
鵜のいる岩も波はかくらん  
「続古今和歌集」順徳院  
「安永風土記」などによつて  
「おくのうみ」は、渡波干潟の  
万石浦をさしているようであ  
る。江戸期になって、伊達の殿  
様が、この地に鹿狩りに来たとき、ここを埋め立てれば、万石の  
米がとれるのではないかと言っ  
たのでその後、万石浦と呼ばれ  
ているという説もある。万石浦の奥には、玉の  
浦という静かな入り江があり、長者が住んで  
いたという言い伝えがある。「五つ葉うつ木のそ  
の下に、漆万倍、小金億億」誰も探し当てられ  
なかった。

今は、語り継ぐ人たちがも少なくなり、一年  
のうちに一度、万石浦が黄金色の夕日に輝く  
日があるという。私も見たいと思う。

高齡者の見守り「限界」の阪神間  
「神戸新聞」 2014年1月10日付

**0120-111-019**



## 連載「田・山・湾の復活」(その七)

岩村 義雄

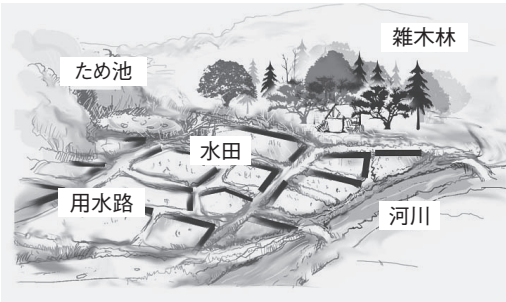
世界的な食料不足が日本に  
忍び寄るとき、食べ物輸入に  
頼っている日本の暮らしは危な  
くなりそうです。

「少欲知足」を忘れていま  
す<sup>19</sup>。日本では、食料消費全体の  
2割にあたる約1800万トン  
を捨てています。このうち、売れ  
残りや賞味期限切れの食品、食  
べ残しなど、毎日3000万食  
が捨てられています<sup>20</sup>。

余っている所と、不足してい  
る地域に開きがあります。人  
と里山がうまくかみ合わな  
くなった時期と同じ頃に感謝の心  
を忘れるようになりました。

「昔々おじいさんは柴刈りに」  
という民話があります。花咲か  
じいや、カチカチ山、桃太郎な  
どの昔話には山が必ず出てきます<sup>21</sup>。柴刈り  
の「柴」とは雑木林に折れたり、落ちている細  
い木や枝です。炊事や暖房の「たきぎ」になり  
ます<sup>22</sup>。木の実、キノコ、山菜もあり、雑木林は  
人と自然をつなげる役割をしてきました。奥  
山と里山はちがいます。里山は人が何世紀に  
もわたって農夫が手入れしてきた交流の場で  
す。里山と奥山の境界線を「峠」と言つて、上  
と下を区別します。

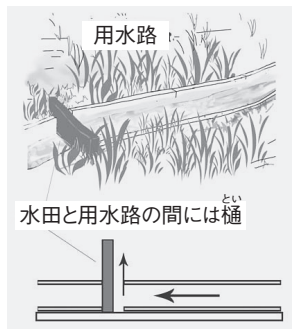
奥山の高  
木の花やマ  
ハノキ、ミズ  
ナラの色は  
地味です。人  
間、昆虫も  
見向きもし  
ません。一方、  
人による雑  
木林の桜、ホ  
オノキ、ミズ  
キにはいろ  
んな生き物  
がいます。ト  
チ、クルミ、ク  
リなど。ドン



里山 奥野 理恵 作

グリ、果実  
もありま  
す。リス、  
イタチや、  
小鳥、昆虫  
が飛び交  
い、食べる  
実が豊か  
でした。

里山の集落には、田に水を届ける用水路  
(春の小川)、ため池、雑木林の三つが揃つて  
いました。



用水路(春の小川)

高度経済成長期に、できるだけ速く湾へ  
水を流すコンクリート製のU字溝が登場しま  
す<sup>23</sup>。河川から用水路へ流れた魚などの生き  
物が水田と自由に行き来ができなくなりま  
す。サンショウモタガメ、コウノトリなどが田  
んぼから消えました。水中の生き物(植物・  
昆虫・動物)と陸の生き物が切り離されてし  
まいました。田は微生物、イトミミズなどに  
よる分解浄化作用もできなくなりました。

乾田になり、高額な農業用機械が田に入  
ります。農薬、化学肥料は生態を狂わせまし  
た。生産を高める農業経済が日本中に広が  
ります。人は自然に溶け込むより、反収の経  
済を優先します。人間はもはや生態系の一員  
ではなくなくなりました。

したがって、里山の心の原像と引き換えに、  
儲けに走ったため、若者はふるさとに魅力を  
感じなくなり、都会に出ます。

19 『仏遺教経(ぶつゆいきょうぎょう)』(岩波書店  
1936年)にある「欲を少なくして足ることを知る」。  
「もったい、信心は、満ち足りることを知る」は、大  
きな利得の道です。(聖書 イテモテ六・六)。

20 世界では8億5000万人近くが飢餓。食べられるは  
ずなのに「食品ロス」は5000~8000万トン。コメの  
収穫量(2012年約850万トン)とほぼ同じ量。二  
方、発展途上国の8億5000万人が十分な食糧がない。  
(2014年9月16日 国連食糧農業機関FAO)。  
毎日新聞(2014年9月17日付)。

21 5228編の昔話の内、山に関係する民話は32パーセ  
ント。『全国昔話資料集成1』(佐藤義則 岩崎美術社  
1974年44・111頁)。

22 1929(昭和4)年に、日本国内で燃料として最初に  
LPGガスが使用された。1963(昭和38)年頃からタク  
シーの燃料として使われ始め、現在では国内タクシーの  
約80%がLPG車。

23 高度経済成長期(1954~1973)

## (社)神戸国際支縁機構

### ●ボランティアや移住者募集中

毎月、被災地へ赴きます。農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協  
力ください。医療関係者歓迎します。詳細はホームページ。

### ●被災地への支援物資もお願いします。

### ●年会費をお願いします。

会員(年度4月~翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

事務局長 本田 寿久

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、  
ご協力をお願いします。

本会員は、一口 2,000円/1年

賛助会員は、一口 5,000円/1年

●郵便振替 口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

●三菱東京UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には必ず『国名』と『地域』と書き添え  
てください。

## ご協力を感謝します。(敬称略)

2014年7月20日~10月18日

岩村義雄、中山尚幸、アジア国際フェスティバル実行委員会、小森陽一講演会実行委員会、  
塩屋キリスト教会、毛藤智夫、濱岡京子、福岡真悟&ウィルシー、山下妙子、保田薫、  
西川一樹、阪本哲紀、間森誓司、ゲーベルひでみ、酒井 彰、酒井久美子、柳澤豊、  
安田吉三郎、阿部和夫、左成和朗、北村徹、住友健史、西上千栄子、木村襲治、  
小野崎秀通(石巻市曹洞宗洞源院住職)、三浦敏壽、永原郁子、清水富士雄、庄司慈明、  
宮坂信章、袴田康裕、千葉幸一、加藤賢宗(石巻市曹洞宗浄音寺住職)、豊原正尚、  
本田哲郎、仲野幹、北口重蔵、大阪朝湧会、アシュラムセンター、宮本要太郎、中村仁一、  
本田すみ代、北村恭男、宮本博美、河内常男、遠藤トシ江、古川直子、兵頭晴喜、  
満田悟士、本田寿久(2)、KISO牧場、中山敬一郎、岩村カヨ子、徐桂英、  
玉の肌石鹸株式会社、内貴八郎右衛門

合計 1,450,000 円

出納 村上 裕隆

耕支縁に塩屋キリスト教会、五百井正浩住職、岸本豊氏、横山豊有住職、あっぱいあー  
む、フードバンク関西から米などをご提供いただきました。丹波水害ボランティアに  
本田哲郎講座受講者、宮城県石巻市修玄館、震災がつなぐ全国ネットワーク、姫路  
野里キリスト教会遠藤トシ江さんからは義援金。

## 編集後記

今季から題字が変わりました。宮  
城県水産高等学校の図書室前の東  
京在住の田鶴崖氏の書にだれもが  
釘付けになります。代表が交渉され  
ました。「碧落無碑」の四文字で、「大  
空に偽物はない」の意味だそうで  
す。東北ボランティアに出かけて、私たちがはじめてさせてもら  
う農・林・漁は天候に左右されます。「山の霧が一斉に立ち上る  
日は、干し物日和」と東北で耳にしました。朝日に照らされて  
温まった霧は白い霧となって雲のように立ち上ると、晴れるそう  
です。天気予報より当たるので海産物の干し物には向いていま  
す。空の気配を感じ取れるようになりたいものです。(吉川 潤)

